

## 会議の要旨

### 1 開催した会議の名称

令和8年度第1回精華町国民健康保険運営協議会

### 2 開催日時及び場所

令和8年7月17日（金）午後2時から午後3時30分まで  
精華町役場6階審議会室

### 3 議題等

- 1 令和7年度精華町国民健康保険事業特別会計決算について
- 2 令和8年度精華町国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について

### 4 公開・非公開の別

公開

### 5 出席者

精華町国民健康保険運営協議会委員13名のうち出席者12名

出席委員

飯田委員、檀上委員、永嶋委員、安村委員、藤木委員、  
山本浩二委員、新司委員、寺本委員、岡田委員、渡辺委員、  
山本正来委員、石井委員

欠席委員

三谷委員

### 6 開会

委員13名中12名の出席により、過半数を上回っていることから、本協議会は成立

### 7 審議等の要旨

#### 1 令和7年度精華町国民健康保険事業特別会計決算について

歳入決算2,991,452,172 円

歳出決算2,865,118,298 円について内容説明

#### 質問・意見など

山本浩二委員：調剤費の伸びを抑えるため、ジェネリック医薬品の利用やOTC医薬品の活用も含めたセルフメディケーション

ンを町の立場として推進していく方針なのか？医師の立場からすれば病院を受診して薬を服薬していくのが一番いい。自分の体にあった薬を選ぶことが大事であるとする。

事務局：町としてはジェネリック医薬品やOTC薬品のみを推奨するのではなく、病院を受診したうえで、ジェネリック医薬品やOTC薬品という選択肢もあるということを知周知広報していく。

寺本委員：前年と比べ令和7年度は徴収率が下がっているが何か原因はあるのか？

事務局：マイナ保険証に変わり住民の方と接する機会が減り、納付相談の機会が減ったことも原因の一つと考える。また滞納分は平成22年度から京都地方税機構で徴収業務を開始している。税機構は精力的に活動され収納されているが経済状況が悪くなっていることも原因であると考えている。

石井委員：京都府への納付金が増加しているとのことだが、どのあたりが保険税率の見直しが必要となってくるポイントなのか。基金を取り崩さなければならない時期がすぐくるのか？

事務局：基金は現在約1億6千万円ある。前年度からあまり変わっていない。令和7年度は実質単年度収支の赤字額が9,400万円あるが繰越金があったので基金を取り崩さずにいけた。保険給付費が毎月約1億6千万円かかるので高額な給付が出たとき等のため基金は切り崩さずにいきたいと考えるが、今後も赤字が出るのが想定されるので基金をどこまで切り崩すか、税率の改正をいつ行うかを議論する必要がある。

## 審議結果

賛成全員

## 2 令和8年度精華町国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について 改正の主な内容

一つ目が令和9年4月から実施される国民健康保険税の軽減制度拡充に伴うシステム改修にかかる費用1,783千円を追加で計上するもので、全額国からの交付金を財源とします。

二つ目が子ども・子育て支援金制度導入に伴うシステム改修費の差額を返還するための費用を追加計上するものです。令和7年度にシステム改修を実施しましたが、国から交付された金額よりも安価に実施できたため差額を返還するもので、当初予算で1,223千円計上しておりましたが不足する558千円を追加で計上するものです。財源の性質上一般会計から繰り入れることができませんので基金を取り崩してその財源とします。

#### 質問・意見など

なし

#### 審議結果

賛成全員

#### 9 答申

#### 10 閉会